

【水道事業会計】

2月27日の本会議におい予算特別委員会に付託されました議案第27号令和6年度中川村水道事業会計予算について、それぞれ、3月12日、役場第1・第2委員会室におきまして委員8名の出席の下、関係課長・係長に説明を求め慎重に審査を行いました。

審査の結果は、それぞれの特別会計予算は委員全員の賛成により議決すべきものと決しました。

審査の過程で出された質疑、討論について報告いたします。

質問： 衛星を使った漏水調査のためこれ始めてですけど、どうやって漏水調査をするのか、ということと、あと精度について。

回答： こちらの衛星画像を使った漏水調査になりますけれども、今議員ご指摘のありました通り来年度初めて行う事業になります。

こちらについては中川村だけではなくて県内他の自治体、事業者でも何事業者か行うというところの中でそれぞれ契約をする形にはなりますけれども委託費が、その分軽減されるということ、それから県の交付金を使えそうだとということで今回計上したところがあります。

漏水については水が漏れているということを日常の監視の中で見ながら水の漏水量が増えたら探しに行くわけですけどもまず範囲を絞り込むところから始めていきます。なかなか限られた職員の中で1から管を絞り込んでさらにピンポイントで水が出ているところを絞っていくというところには当然時間もかかってくるわけでありましてけれども、こちらについては衛星で写真を撮るとすいません細かなところはあれですけども水道水にどう反応するなんか周波数っていうかそういったものがあるみたいで、水道水に画像の解析の部分が反応するそうです。

それはピンポイントで絞れるというよりは、管路のある程度の位置まで絞り込めるということになっておりますので長い10キロの管路例えばあるうちの、ここの区間っていうところまでは絞り込めるというところで、そこから先についてはいずれにしてもピンポイントで職員の方で行って絞り込む必要がありますが、ただその絞り込むところにたどり着くまでの労力の方を削減できるというところを期待しているところがあります。

質問： 管路の電子化を進めるってありますが、具体的にはどういうことになるか。

回答： 現在中川村についてはいわゆる水道管がどこに通っているとか、そういったものについては、中川村の都市計画図に手書きで、もうこれまでの職員がここも敷設したので、手で書いて、廃止したところは□をしてっていう形で、本当に都市計画

図の中でずっと管理をしてきたんですけれども見にくくなってきているというところ、それから必要な情報がなかなか一気に手に入らないというところもありますので、基本的に想定をしているところにつきましては水道独自の配管図のデータといたしまして管の種類それから口径それから仕切弁の位置であったりとか、あと埋設深度ですとか掘りがどれぐらいあったりだとかそういった情報が手に入るような配管図の電子化というところを目指していきたいと考えております。

質問： 今言ってるところはこの1年間1500万で、あるところ全てですね村内の水道のところは、全部これ1年間で終わるっていうイメージでよろしいか。

回答： 一応そのように想定はしております。一応PDFのデータ等も含めてですけれど。

質問： 何年か計画でやるんじゃないですか。

回答： 一応業者の見積もりとった業者さんには相談させてもらいながら、今ある電子管路の簿冊の量と、そういったものを見てもらってスキャン等含めてですけれども、見てもらった結果がこの金額と、期間的には1年間ということで見てもらっておりますけど。

意見 これ水道水路台帳も電子化するようにほとんどなるはずなんですけど、それとの関係性、考えてこれPDFじゃないですよ。画像じゃないですよ。要するに、データとして全部台帳ができるってことですね。水道台帳が。そう考えていいんですか。

回答： はい

質問： 水源詳細調査ありますね。業務でこれはもう、1ヶ所でしたっけ。何ヶ所か教えてください。

回答： 水源調査につきましては令和4年度昨年度から実施をしてきているところがありますけれども今年度令和4年度に実施したものに基づいて3ヶ所を絞り込んで詳細調査を行いました。1ヶ所、来年度についてはボーリング調査ということで予定しているんですけれども、1箇所1600万円かかるということなので、その中で絞り込んで1箇所ということで思っております。

質問： 3ヶ所のうちから絞り込んでいて、ボーリング調査1ヶ所やってみるということよろしいですか。

回答： はい

質問： 沢入浄水場の地質調査ってありますよね。この地質調査はあそこの水をためるところが、小さいからというか、不安定なので、そこのところをやるっていうイメ

ージで、具体的にちょっと教えてください。

回答：こちらについては将来的なものにはなりますけれども、さらに浄水場も建設から50年近く今経過をしてきている中で、耐震性も乏しいというところそれから当然ろ過方法も含めて検討していくことになろうかと思えますけれどもそういった中で将来の建て替えに向けておそらく浄水場の建て替え箇所は今ある浄水場の近くになるだろうという想定のもとで地質調査を実施して将来建て替えるために地盤調査を事前にやっておくというようなイメージではおります。

質問：構築物排水管が今どんどんやってくれてますよね。今度4年目ぐらいになると思うんですが、震災の後でちょっと心配になったんだけど、耐震性なんてことはどんなふうなことを考えておられてるんでしょうかね。

回答：耐震化という部分については現在入れてきている新しく敷設をしてきている管路については、これまでの塩化ビニール管ではなくて、耐震性を有する耐水ポリエチレン管を敷設をしてきているということで管路については耐震化を順次進めてきているというような状況であります。

ただなかなか一気にできないので、このように計画的に補助事業等もあれば活用しながらいうふうに考えておりますが、施設についてはなかなかちょっとまだそこまで手が回ってこないというところもありますので施設の方はちょっと次になってしまっているのかなというのが現状です。

質問：耐震化率っていうのはどのぐらいになってるんですか。

回答：正確な数字ではないのであれなんですけれども、村全体の管路の中では耐震化率については3割程度ということでご理解いただければと思います。

質問：関連なんですけど先ほどの図面のデータ化ができればこういうものはすぐ瞬時にデータ出ますよね。つまり耐震化率がその場が出るっていうふうになると考えていいですね。管種まで全部入るから、図面上にですね。

回答：そうですね。

質問：構築物の関係で確か去年の説明の中で、片桐地区の水を牧ヶ原橋を渡って下平地区へ渡すというお話があったかと思うんですけど、その工事はもう完了しておるということでいいですか。

回答：片桐地区の水を、下平のポンプ室というところを経由してというところについてはもう既にもう何十年も前から行っていることなのでそれについてはもう実施をしているというところです。

質問：飯島の受水に伴ってそこに余裕が出たという理解でいいです。

回答：そうですね片桐地区の深井戸の水源については順次予備水源化等していくと

いう点においては、余裕が出るというところはあるかなと思います。

質問： 収益的収入が前年度より 500 万増になってるんですが、この収益的収入が増えてるっていうのは何を根拠にして、増にしたのか教えてください。

回答： こちらについては先ほど申し上げた衛星を使った漏水調査の関係で、一般会計の方から水の恵みの交付金が入ってくるんですけどもそれを水道の方へ負担金ということでそのまま繰り入れるという部分と、あと企業債を借り入れて令和 4 年度から他の工事を行っておりますが、繰入の基準といたしまして令和 3 年度以降に借入れを行った 55%を繰り入れ基準内として補助としていただけるということになっておりますので、その分は増額を見込んでおります。

質問： 決算統計システム構築業務等の減 200 万円の減ってというのはこれは減になって 90 万 6000 円になったっていうことなんでちょっとこの意味がよくわからないんですけど教えてください。

回答： 減になって 90 万 6000 円という解釈で結構かと思います。

質問： これ前年度の委託料の内容から、200 万減になったっていう意味なんですが、意味がよくわからないんですけど、何から何を引いてるのかよくわかんない。

回答： はいすいません。令和 5 年に決算統計システム構築業務を行って構築が完了しました。その構築業務が令和 6 年度はなくなるということでちょっとこういう書き方をさせていただいてあります。

質問： ということは元々令和 5 年度の発注がいくらだった？ 300 万近くあったということですか。

回答： そういうことです。構築業務を行うために令和 5 年度はこの金額が通常より大きく出てたというものなんです。

それを令和 6 年は通常の構築物の委託業務が終わったので、令和 6 年は通常に戻すという形ということなんです。

質問： 何か、これ書いてあるから余計にわかんないんですよ。

回答： はいそうですね。

質問： 新たに追加して 90 万 6000 円を入れるってことだよ。構築業務で、全部委託料、そうだよ。毎年やってた、今までやって令和 5 年度やってた委託料あって、その続きで 90 万 6000 円を追加しますという意味だよ。そうではなくて、ずっと 90 万 6000 円はあったでしょう。

回答： はい、ちょっとすいません書き方が申し訳ありません。

90 万 6000 円については、通常毎年行われる業務が 90 万 6000 円。それで令和 5 年度だけが 203 万円が多かったという。

すいません、書き方ですね。無くても良かったですね。

他に質問の方よろしいですか。

それでは水道事業会計の予算について承認される方の挙手をお願いします。

はい、全員賛成です。よって、水道事業会計の予算については承認と決まりました。